

第 2865 回例会 単独例会

平成26年度/夏山（8月3日～8月5日）
北アルプス「蝶ヶ岳(2,677M)」へ



神戸ヒヨコ登山会



3日：垂水6時、新神戸6時40分スタート、草津8時、養老9時40分、一宮から東海北陸道の松ノ木パーキングで昼食11時40分、清見ICを11時20分、平湯で12時30分に神姫バスからチャーターバスに乗り換えて上高地13時の到着。ここから横尾まで11kmを時々小雨の降る中を歩くが明神14時、徳沢15時15分、横尾16時30分の到着となった。



天気予報は8月3日に黄海にあった台風12号が北に進路をとっており安曇野地方の晴れとの予報であった。途中の伊吹山の雲空（敦賀地方の雨）も回復するとだれしもが思っていた。ところが運悪く台風は4日に進路を東に向きを変えて日本海に抜けて熱帯低気圧となった。この影響で北アルプスの玄関口は晴れ間を見ることがなく時々小雨の降る気象条件が続いた。山小屋は登山客でにぎわっていたが予定を変更する人も多く見られた。我々は不測の事態に備えて早め早めのスタートで無事に予定のコースを進むことができた。これもひとえに毎日登山で鍛えた身体とチームワークで乗り切る事ができました。

4日：5時30分の朝食、小雨の降るなか6時30分に横尾山荘を出発した。8時20分“なんちゃって槍見台”ではガスで山並みも見えない。ゴゼンタチバナ、カニコウモリなどを愛でながらゆっくりと急登。“第3ベンチ”9時40分、10時30分には稜線手前の樹林帯で昼食とコーヒータイムで一時的な憩い。11時には常念岳への分岐、このあたりから稜線に出て霧雨と風が強くなりA班、B班共に隊列を組んで進む。11時30分には蝶ヶ岳ヒュッテ手前のピークに、12時ごろに山小屋に到着も午後の一時をビールで団欒もよし。小屋はあいにくの天気にもかかわらず登山客でにぎわい寝床も満杯、夕食、朝食も三回に分けての給仕。



5日：5時の朝食、昨夜から風雨が強く僅かな望みも消え“気を引き締めて”にかわる、小雨の降るなか5時45分に蝶ヶ岳ヒュッテを出発。6時に蝶ヶ岳山頂、6時20分に長堀山手前の“妖精池”を通過、キヌガサソウやチングルマ、シナノキンバイ、ナナカマドが咲き誇る樹林帯を徳沢に向けて下山した。途中で憩いのコーヒータイム、雨のおかげで色鮮やかなキノコ類やギンリョウソウ、沢山の高山植物を楽しみながらの下山。徳沢からは梓川に沿って歩き11時半に明神池で昼食。13時半に上高地を後にビールで無事下山を乾杯、ガスで見れなかった北アルプスの山並み“またのお越しを”に思いを乗せて三宮19時30分の帰着となった。

